

## 平成30年度 第1回定期評議員会 議事録

日 時 平成30年5月19日(土)15時00分～16時10分

場 所 北海道立総合体育センター 小研修室

評議員出席者 山口隆義、藤曲健司、小川政憲、山内孝夫  
中川裕行、辻井淳一、

理事会出席者 生島典明、紺屋正雄、渋谷研一、黒田謙二  
印藤智一、田中昌幸、沓沢幸一、丸山道博  
浅野泰弘、櫻庭功一、碓井喜晴、家近昭彦

監事出席者 川村俊明、高坂 猛

### 1. 開 会

・総務委員長が、評議員会9名中6名出席があり会議は成立することを報告する。

### 2. 会長あいさつ

評議員の皆様にはお忙しいところ出席いただきお礼。平成29年度も多くの事業が無事終了したことにみなさんのご支援ご協力感謝する。切望していた世界選手権とワールドカップの開催が決定した。また、ヴォレアス北海道がVチャレンジリーグⅡで優勝し、今後更なる活動に期待している。

今年度は、全日本マスターズ大会と2018世界選手権女子大会が9月から10月にかけて、さらに、2019ワールドカップ女子大会も札幌での開催となり、札幌協会をはじめとして多くの関係者の皆さんに大変お世話になり、これら大会を成功に導くことで北海道のバレーボールを更に元気なものにすることは勿論のこと、ジュニア層の発掘や応援団の拡大にも繋がるものと確信しており、関係者全員で取り組んで参るのでご協力をよろしくお願いする。

本日の評議員会は、先程の理事会で確認された、平成29年度の事業報告及び決算報告について、ご審議いただくのでよろしくお願いする。

### 3. 議事録署名人に選出

山口議長が議長となり、議長のほか小川評議員、辻井評議員の3名を議事録署名人に決定する。

### 4. 協議事項

#### (1) 平成29年度事業報告及び決算書類等承認の件

##### ①事業報告書類

- ・評議員会資料に基づき、理事長が協会運営の基本方針に沿った各委員会の取り組みについて、各委員会が事業報告について報告した。
- ・総務委員会では、世界選手権大会の運営体制を整備。倫理案件では北海道教育委員会の決定を待って対応する。事業報告として、各種会議の実施、健全な財政運営として旅費規程の見

直しを実施、賦課金助成金の見直しを着手する。新 MRS の役員登録は 6/28 以降となる。各種大会参加一覧表、登録一覧表の説明。

- ・競技委員会では、リニューアルしたホームページの活用で大会速報など PR に努めた。6・9 総合大会の参加数の増加、競技委員の人材発掘に努めた。事業報告について、委員会の開催、大会運営報告の報告がある。
- ・審判委員会では、世界大会に向けて E スコア、VIS の研修をスタートした。審判講習会では生徒、学生を対象とした若手審判員の発掘・拡大を目指した。事業報告について、9 人制の全国大会開催に向け若手 A 級審判員として名寄協会の柴田氏が認定された。H35 年に全国高体連の開催に向け 2 名の若手高校教員が A 級候補審判員として認定された。
- ・強化委員会では、小中高大の一貫指導のさらなる充実で、各カテゴリーでの選抜チーム、中学の JOC は指導普及部と連携を取りながら実施した。事業報告について、各種会議の開催を含め中学、高校、国体、その他強化学業の報告がある。
- ・指導普及委員会では、ジュニアキャンプ、大会を通じて体罰の根絶を周知した。残念ながら指導普及委員の中から体罰事案が発生した。次年度は再発防止に向け講習会の実施を行う。事業報告については、会議を含め指導者研修会バレーボール教室、小学生競技、中学生競技、指導者養成講習会と多岐にわたり記載の通りの報告がある。

## ②一般会計決算報告書

- ・一般会計の収入は交付金が道体協、天皇杯・皇后杯の減、基本金は美唄協会合併による減、賦課金はチーム登録数減少による減、大会参加チーム減少による減、審判員登録料の減、MRS 配布金の増、支出は事業費が大会参加料としたため減、会議費、旅費については経費の節減に努めていただき減、収入から支出を差し引いた 979,298 円を平成 30 年度に繰り越す。
- ・特別会計の財政調整基金は谷本顧問ご逝去に伴い谷本家より 20 万円のご寄付があり、これを繰り入れ、1,020 万円、特別事業等基金は 1,510 万円、強化育成基金は支出が 3,797,061 円あり 5,419,296 円の繰り越しとなる。

## ③監査報告

- ・川村監事より一般会計、特別会計、各委員会会計ともに正確かつ適正に処理されていることの監査報告がある。

質疑等が無く、平成 29 年度事業報告書類及び決算報告書類は承認された。

## 5. 報告事項

### (1) 平成 30 年度事業計画及び予算

- ・平成 29 年度第 4 回理事会 (3 月 17 日開催) 議案に基づき理事長及び各委員長が説明する。
- ・総務委員会より今年度の理事会回数を 4 回から 3 回になることの報告がある。
- ・審判委員会より強化・育成基金活用事業の報告がある。
- ・指導普及委員会より資料の訂正がある。

9 ページ： ⑩期日 8/18(土)小樽総合体育館に変更

⑪全国指導者講習会第三次講習会 期日 9/23~24 に変更

### (3) 小学生競技大会関係

① 北海道大会 期日 7/7~8に変更

④ 会場 野幌総合運動公園体育館に決定

- ・ 総務委員長より平成 30 年度 一般会計予算（案）特別会計予算（案）の報告がある。
- ・ 強化委員会より強化・育成基金活用事業の報告がある。

#### <質疑・意見等>

○ 国体の強化について今後も継続して実施して頂きたい。

⇒ 継続して実施していく

## 6. その他

### ① 新 MRS について

- ・ 3 月 18 日から新 MRS システムへの移行が始まり、各加盟団体事務局各位のご協力で大きなトラブルも無く移行が完了している。チーム登録以外のシステム構築が完了していないことや、システムの構築による男女チームの明確化などにより、旧 MRS でできていたことが現在できていない部分があり、その内容について改めて報告する。
- ・ 新 MRS の大会の申し込み設定についてチームからの問い合わせで修正をし、現在は申し込みが可能となった。大会参加料の設定が 7 月 26 日までできないため、当面チームには北海道協会の口座に振り込んで頂くようお願いしホームページにも掲載をする。
- ・ 登録の男女混合設定は小学生とソフトだけとなったため、男子部員が少ない中学校等、チーム登録をしないで活動する生徒に対して、当面の救済処置として女子チームのスタッフとして登録をお願いする。
- ・ 審判・コーチ・役員の登録は 6 月 28 日からシステムが稼働の予定であり、役員としての登録をお願いする。

### ② 日本協会関連

- ・ JVA 新評議員の選任は 5 月 15 日付で北海道協会では黒田副理事長が新任された。JVA では会長が 1 期での解任が続き、評議員の在り方について見直しがあり、今回 25 名に追加し、9 ブロックと全国組織の各加盟団体から評議員が選出された。
- ・ 2020 年の東京オリンピックパラリンピック期間について都道府県大会はなるべく日程調整を配慮するよう通達があった。ブロック大会、各加盟団体にも協力を要請した。
- ・ 先日各加盟団体に世界選手権大会  
全国の入場券先行予約販売の案内を送付したところであり、入場券販売の協力をお願いする。

### ③ 総務委員会

- ・ 日本協会功労者表彰について黒田副理事長、大江副理事長を推薦していたところ、3/6 付で決定通知が届いた。表彰式は 6/29 の全国加盟団体代表委員総会時に合わせて表彰式が開催される。
- ・ 先日元芦別市長の林氏のご逝去し、ジュニアキャンプ等のご協力を賜ったことから、協会か

ら供花と弔電を送らせて頂いたことの報告がある。

④審判委員会

・2020年の東京オリンピックに向け世界大会に向けてレフェリーユニフォームが一新され、2019年度から販売予定。

7. 閉 会

議事録署名人 議長 山口隆義 (印)

議事録署名人 辻井淳一 (印)

議事録署名人 小川政憲 (印)